

田植え実習

産業技術系列の2・3年生による田植え実習が5月14日・15日に行われました。生徒の皆さんは慣れない田植え機の操作に苦戦しながらも一生懸命取り組みました。植えた苗の列が曲がってしまうこともありましたが、お互い声をかけ合いながら作業を進める姿が印象的でした。また、担任の先生方も農業科の先生方の指導をいただきながら田植え機による田植え作業を経験しました。2日間とも天候に恵まれ、今年も無事に小野高校の田んぼに稲の苗を植えることができました。これからの稲の成長を見守り、秋には黄金色に輝く稲穂の収穫を迎えられることを、今から楽しみにしています。



稲の苗を一生懸命運ぶ生徒の皆さん



田植え機による田植え体験！

選手壮行会

5月16日に福島県高等学校体育大会に向けた選手壮行会が行われました。県大会に出場する弓道部、陸上競技部、テニス部の3つの部の代表者が大会に向けての抱負を語った後、生徒会役員や校長先生から激励の言葉が送られ、最後は応援委員会による力強いエールで締めくくられました。小野高校としての出場は今年度で最後であり、少人数での活動や限られた練習時間の中、県大会出場を果たした選手の皆さんからは、小野高校最後の力強い意気込みが感じられました。



めでたく県大会出場を決めた選手の皆さん



応援委員会から選手の皆さんに力強いエール！



君の夢をカタチに！！
福島県立小野高等学校

福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後63
TEL 0247-72-3171 FAX 0247-72-6211
<https://ono-h.fcs.ed.jp>

交通安全教室でおまわりさんからの話

4月25日に交通安全教室が実施され、田村警察署小野分庁舎の署員の方から交通安全についての話をいただきました。子どもが交通事故に遭う1番の原因は「飛び出し」だそうです。急な飛び出しをしないこと、駐車場で遊ばないこと、横断歩道の渡り方などについて詳しく話を聞きました。

子どもたちは、制服姿の署員の方の話を最後までしっかりと聞くことができました。

また学校の代表である6年生へ「家庭の交通安全推進員」の委嘱状の交付がありました。

署員の方からは、「6年生の皆さんが交通安全について家族へ呼びかけてほしい」という話があり、それに応えるように、6年生代表の4人が「家庭の交通安全推進員」として実行する4つの項目についてしっかりとした声で読み上げました。

今後も交通事故に遭わないように、子どもたちと一緒に考えていきます。



<お知らせ>

学校での子どもたちの活動の様子は、「小野町教育ポータルサイト」(<https://ono.fcs.ed.jp/>)に
随時掲載していますので、ぜひご覧ください。



今年度最初の授業参観が行われました

4月25日、今年度最初の「保護者と管理職が語る会」「授業参観」「PTA総会」「学年懇談会」が行われました。

「保護者と管理職が語る会」とは、本校独自の会で、PTA会員であればどなたでも参加し語り合う会です。普段抱えている悩みなどを保護者間で語り合うことで解決できたり、学校としても保護者の皆さんから貴重なお話を伺えたりして、とても有意義でした。

授業参観では、1・2年生は全学級とも学級活動で、ソーシャル・スキル・トレーニングを行うとともにグループに分かれて、交流活動を行いました。3年生は、総合的な学習の時間で、先日実施した修学旅行の班別自主研修について、作成したスライドを使って発表を行いました。また和久学級では、2年生が進路学習、3年生は修学旅行の発表を行いました。

各学年、各学級とも温かい雰囲気の中で授業が行われており、笑い声の聞こえる楽しい授業が見られました。

授業参観後には、PTA総会と各学年に分かれての学年懇談会が行われ、多くの保護者の皆さんにご参加いただきました。

今後も地域に開かれた学校運営に努めてまいりますので、引き続きご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



<お知らせ>

学校での子どもたちの活動の様子は、「小野町教育ポータルサイト」(<https://ono.fcs.ed.jp/>)に
随時掲載していますので、ぜひご覧ください。



☆放課後児童クラブ紹介☆

～宿題も遊びも頑張ってるよ！～

「ただいまー」と学校から帰ってくると、元気な子どもたちの声が玄関に響きます。「おかえりなさい」と迎えると、笑顔で学校のできごとを話したり、友達とおしゃべりをしながら学習準備を始めたりと、児童クラブ室は子どもたちのにぎやかな声でいっぱいです。今年度から放課後児童クラブの拠点場所は「小野町児童館キラッと☆おの」館内になりました。大きな窓からは小野町の街並みや小学校の校庭がよく見えて開放感にあふれ、室内は木の香りとあたたかな雰囲気です。1年生から6年生までの異なる年齢が交流する中にはほほえましい場面がたくさん見つかります。高学年の子が低学年の子に将棋やオセロのルールを教えたり、低学年の子に頼られて、照れながらもお手伝いをしてみたり、時には口論し合う場面もありますが、友達や支援員と話し合い解決策を探るなど、一生懸命な子どもたちの姿は素敵です。みんなの児童クラブが家庭で過ごすように「ホッ」とできる場所であるよう、職員一同温かく迎えたいと思います。



うまく積めるかな？



今年度の放課後児童クラブ



やったあー、ゴール！



テラスでひなたぼっこ



ドールハウスで遊ぼう！

おのまち認定こども園通信

お花見に出発！

桜が満開となり、空を見上げるとまるでトンネルのような雲が広がり、絶好のお散歩日和となったある日、横断歩道の渡り方などを学びながら、子どもたちは小さな足でお花見に出かけました。友達と手をつなぎ、お話にも心弾ませ、「火花みた〜い」「きれいだね」と喜ぶ笑顔があふれていました。ひらひらと風に乗って花びらが舞うと、「うわあ〜」と歓声が上がり、手をつかんだり、拾ったりしながら、心地よい春の陽気の中で素敵な思い出をつくることができました。



桜並木を楽しく歩く子どもたち



園の畑「みのりファーム」をはじめました

今年は、佐藤利廣さん(荒町)のご厚意で、こども園の畑を機械で耕していただきました。肥料も加え、硬くなった土がフカフカになりました。別の畑では、みのり組(年長)のお友達も手伝い、これから子どもたちが選んだ夏野菜の苗を植えてお世話し、収穫を楽しみに大切に育てていきたいと思ひます。



畑を耕す子どもたち



佐藤利廣さん(荒町)に「みのりファーム」を耕していただきました



☎ 子育て支援課
7212212



母子モアプリ
アイコン



母子モ
QRコード

お子さんの成長記録を、お父さんや遠く離れて住むご家族で共有することが出来ます。妊娠している方、すでに子育てをされている方、どなたでもご利用が可能です。お気軽にご活用ください。

■家族共有

150種類の記念日を参考に、写真とコメント付きで記録ができ、日々のできごとを思い出しとして残すことができます。

■子どもの成長記録

お子さんの生年月日や接種履歴をもとに、接種できるワクチンと最適な接種間隔を自動で算出し、予定日が近づくと事前にお知らせがアプリ内やスマホ画面上に届きます。

■予防接種の管理

妊娠・出産や子育てに関する町のお知らせやイベント情報、各種申請手続きなどを簡単に確認することができます。

▲アプリの主な機能▼

■子育て情報配信

町では、妊娠期から出産・子育て期をサポートするアプリ「子育て応援アプリおののびby母子モ」を配信中です。



便利な機能が
たくさんあるよ！



○便利な機能がたくさん

「子育て応援アプリおののびby母子モ」配信中

地域子育て支援拠点事業(おひさまカフェ)のお知らせ

～友だちを誘って遊びませんか～

開催日

月曜日・水曜日・金曜日

開催時間

午前10時から午後3時まで

実施内容

おのまち認定こども園では、0歳から就学前までのお子さんや保護者の皆さんの相談や交流の場として、園を開放しています。
(※こども園に在園していないお子さんも利用できます。)
電話で簡単に予約できますので、お気軽にお申し込みください。

料金

無料

予約先

おのまち認定こども園 ☎73-8321

実施内容

月日	事業名	内容
6月	21日(土)	庭園開放(9:00~12:00)
	25日(水)	赤ちゃんひろば(10:00~11:00)

みんなで きれいな おのまちに／ 「快適環境のまちづくり週間」

～この取り組みは、子ども議会での提案をきっかけに平成29年度から実施しています～

町では、7月1日から7日までの期間を「快適環境のまちづくり週間」に定めています。
町民一人ひとりが環境美化を心がけ、美しく住みやすい町を目指しましょう。

< 快適で住みやすいまちづくりのための3つのポイント >

①ポイ捨て、不法投棄は絶対にしない

ポイ捨て、不法投棄は「犯罪」です。自然環境に影響を及ぼすほか、さらなる不法投棄の誘発にもつながります。絶対にやめましょう。

②ごみの減量を意識しましょう

ごみを減らすことで、ごみ処理にかかる多くの費用を抑えられるほか、地球環境を保護することにもつながります。限りある資源や美しい自然を守るためにも、ごみを減らすことを意識しましょう。
ごみを減らすために「4つのR」を意識しましょう。

Refuse (リフューズ：ごみの元を生まない)

- ・ 不要なものは買わない
- ・ マイバッグ・マイボトルを活用する など

Reduce (リデュース：ごみを減らす)

- ・ 簡易包装の製品を買う
- ・ 長く使えるものを選んで買う など

Reuse (リユース：繰り返し使う)

- ・ 壊れたものは修理して使う
- ・ リサイクルショップを活用する など

Recycle (リサイクル：再資源化する)

- ・ リサイクル品を選んで買う
- ・ 正しく分別して再資源化する など

③ごみの出し方を再確認しましょう。

家庭からごみを出す際は、以下の点に気をつけましょう。

- ・ 捨てる前に正しく分別しましょう。
- ・ 町の指定ごみ袋に入れて出しましょう。
(指定ごみ袋の料金には、ごみの収集運搬費・処理費用が含まれています。)
- ・ 決められた曜日に決められた集積所(ごみステーション)に出しましょう。
- ・ 分別が十分でないもの、指定ごみ袋以外のものは回収せずに黄色いシールを貼っておきますので、出した人が責任を持って持ち帰り、きちんと分別してから次回の収集日に出しましょう。



おのまちごみ減量大作戦！

ペットボトルのリサイクルについてご紹介します。
リサイクルできるのは、ジュース、お茶、ミネラルウォーター、しょうゆ、みりん、調味料などのペットボトルです。
ペットボトルは中身を完全に空っぽにし、軽く水ですすいでください。また他のプラスチックとは分けて、ペットボトルだけを出してください。

● ペットボトル

プラスチックのキャップやラベルは、はずして【プラスチック】で出してください。
紙の場合は【もやせるごみ】へ出してください。※手ではずせるものだけで大丈夫です。

< リサイクルマーク >

ペットボトルで出せるのは、以下のリサイクルマークのついたものだけです。



● 油のペットボトル・汚れたペットボトル
油(オイル)や油分のあるドレッシングのペットボトルは、リサイクルできませんので、【もやせるごみ】へ出してください。



「資源とごみ分別の手引き」を下記の場所で配布しています。どうぞご利用ください。

- ※英語版とベトナム語版もあります。
- ・ 役場窓口・多目的研修集会施設
- ・ 子育て支援課・ふるさと文化の館
- ・ 町民体育館

資源とごみの分け方についてのより詳しい情報は町公式ウェブサイトでもご覧になれます。

小野町 ごみの出し方



町民生活課 ☎72-6933



問 地域整備課

☎72-6937

■ 場 所 各行政区
■ 内 容 河川敷内のゴミ拾い、雑草などの刈り払い

■ 日 時 7月6日(土)午前6時から(小雨決行)
※行政区によって実施日が異なる場合があります。

○ クリーンアップ大作戦にご協力ください
～毎年7月は「河川愛護月間」です～
国土交通省では、昭和49年から毎年7月を「河川愛護月間」と定め、河川に親しみをもち、良好な河川環境を守るため河川愛護運動を実施しており、町でもクリーンアップ作戦を実施します。
ふるさとの河川をいつまでも美しく保つため、皆さんのご協力をお願いします。

デジタル相談窓口を開設しました

町では、パソコンやスマートフォン、タブレットの使い方など、デジタル技術に関する幅広い相談に対応する「デジタル相談窓口」を開設しています。

デジタル化推進アドバイザーや町デジタル推進室職員が対応しますので、お気軽にご相談ください。

【対面での相談受付】

- 日 時 毎週火曜日・金曜(祝日・年末年始を除く) 午前10時から午後3時まで
- 場 所 小野町役場 デジタル推進室(役場総務課内)
- 事前予約 相談を希望する日の前日までに、デジタル推進室へ電話(0247-72-2111)またはメール(digital@town.ono.fukushima.jp)などで事前予約をお願いします。
また下記QRコードからも事前予約が可能ですので、ご活用ください。
※メールでの相談は、随時、受け付けます。



- 持ち物 相談者が自分で使用しているパソコンやスマートフォン、タブレットなど

☎デジタル推進室 ☎72-2111

コミュタン福島 ギモン★ハンター 開催!

「コミュタン福島」オープン9周年を記念して、イグノーベル賞受賞の研究者を招いたトークライブや「のりのり&ひなひな」によるサイエンスショー、普段入ることができない当センターの本館・研究棟に潜入し、研究員等との対話・交流を行う体験イベントなど、子どもたちが自ら疑問に思うことを探し、楽しみながら答えを見つけるイベントを開催します!

詳細はコミュタン福島ウェブサイトをご覧ください。

- 日 時 7月19日(土)・20日(日) 午前9時から午後5時まで
- 会 場 福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」
- 参 加 料 無料
- 問い合わせ先 コミュタン福島 ギモン★ハンター運営事務局
☎024(932)2232

<https://com-fukushima.jp>

コミュタン福島 検索



ウェブサイトはこちら



農作業中の暑さ対策を行いましょう!

県内では5月上旬から、農作業中の熱中症が発生しています。暑さに慣れていない梅雨明け直後などは特に注意が必要です。熱中症を正しく理解し、対策を徹底するとともに、周囲の方が協力して声掛けを行うなどして、予防に努めましょう。



熱中症について

高温多湿な環境下において、体内の水分および塩分(ナトリウム)のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして発症します。

●熱中症の症状と重症度

立ちくらみ、 大量の発汗、 筋肉痛・筋肉の硬直	頭痛、気分の不快、 吐き気、嘔吐、 倦怠感、虚脱感	高体温、意識障がい、 けいれん、手足の 運動障がい
-------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

小 重症度 大

農作業中の熱中症対策チェック

- ✓ 高温時や体調がすぐれないときは作業を避けましょう
- ✓ 単独作業は避けましょう
- ✓ 1人で作業を行うときは家族や周囲の人に伝えましょう
- ✓ 20分おきの休憩とこまめな水分・塩分補給をしましょう
- ✓ 暑熱対策グッズ※を活用しましょう ※帽子、ファン付き作業服など



暑さの感じ方は人によって異なります 高齢の方は特に注意が必要です

- 年齢を重ねると暑さや水分不足に対する感覚機能が低下し、暑さに対する身体の調整機能も低下します。
- 自分の体調の変化に気をつけ、暑さの抵抗力に合わせて、予防対策を万全に。



※農林水産省の調査(H24~R3)によると、農作業中の熱中症による死亡者の約9割が70歳以上の高齢者となっています。